

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【3年生】

【全国学力学習状況調査の概要】

○本校3年生の全体的な学習・生活状況○

- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という設問に対して全国平均を大きく上回り、地域とのつながりを強く感じています。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という設問に対して全国平均を上回り、計画的な学習習慣が身につけており、また、多くの生徒が「読書」に熱心に取り組んでいる姿が見られました。
- ・「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」という設問に対して、肯定的な回答をしている生徒が多く見られ、個々の意見や存在が尊重される安心できる学級づくりができています。
- ・「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。」という設問には課題が見られました。資料などの根拠に基づき、理論立てて、他者にわかりやすく、意見を伝える力を伸ばしていく必要があります。

○各教科の課題と対応○

国 語

国語科では、全体として全国平均を上回り、たいへん良好な結果が見られました。記述式の問題形式でも平均正答率が84%を超え、無解答も0%でした。

ただ、「伝統的な言語文化と国語の特質」に関する事項が他の領域に比べると課題が見られました。

今後は、国語の授業以外でも、幅広い言語活動を展開し、日常生活につながる言葉の力の育成をおこないたいと考えています。特に、手紙や封筒の書き方などは、意識的に機会を設けていく必要があります。全校をあげての「感想文や生活ノートを全行書き切る取り組み」「毎週のHand in Handの取り組み」を通して、書くことへの抵抗感を減らし、書く力の向上につなげていきます。

「朝の読書」の活動は、語彙を増やしたり、想像力を高めたりするのにたいへん有効であるので、これからも継続し、各教科で図書室の利用をさらに推進し、読解力を向上させたいと考えています。

数 学

数学科では、ほぼ全ての分野において、全国平均を上回り、良好な結果が得られています。

ただ、「一次関数の利用」の分野や「数学的な見方・考え方」に課題が見られました。

前者では、問題の中で x の表す事柄と y の表す事柄を把握し、グラフが表す意味を理解する必要があります。今後は、様々な設定の問題に触れ、それについてお互いに話し合うことで、そのグラフが表す意味について理解深めていきたいと考えています。

後者の「数学的な見方・考え方」を要する問題は、複数分野にまたがる基本的な解法パターンの組み合わせで作成されている問題が多いため、既習事項の復習を確実におこないます。その上で、解法を一人ひとりがしっかりと考え、その後、集団の中で個々の考えを交流させる授業に取り組みます。

英語

英語科では、全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な結果が見られました。「まとまりのある英語を聞いて概要を理解する力」が平均を若干上回っています。「文法や英文の空所補充などパターン化した問いや語彙力」に関する項目は平均より高く、毎日ノート等の積み上げの成果が見られました。

しかし、「長文を読み概要を理解する力」「即興で英語で表現する力」「自分の考えをまとめた英文で記述する力」に課題が見られます。

「即興で話す力」については、英語での授業展開を通して英語を気軽に発する状況にしていきたいと考えています。「英文の内容理解」は、英問英答や概要を把握する練習を積み重ねていく必要があります。「自分の意見を書く力」については、トピックを与え、意見を英作文しALTと協力して表現力を高める工夫をしていきます。「話す」についても全国と同程度であるが、即答できる力がついていない生徒も多く、生徒がパターン以外に英語で話す授業づくりに努めたいと考えています。

理科

理科では、すべての領域で全国平均を上回り、大変良好な状況が見られました。特に「粒子」「生命」分野は全国平均を大きく上回っています。これまで実験・観察を通して実物に触れる機会を多く取り入れながら授業を進めてきた成果だと考えられます。

ただ、「寒冷前線の前線面と雲のようす」について考える設問に課題が見られました。観察できる雲と前線面の特徴との関連づけに課題があったと考えられます。比較的、実験・観察が取り入れにくい分野であったので、今後はICT教材等の利用をさらに進め、実験・観察された事象と科学的な仕組みの理解を関連づけた授業をより進めていきます。

○保護者のみなさまへ○

地域とのつながりに肯定的な回答をしている生徒が多く見られました。生徒たちが積極的に地域の行事に参加し、地域の方と触れ合うことで地域とのつながりを深め、地域に見守られ、支えられていることを実感しているからだと考えられます。また、ボランティア活動に参加する生徒も昨年度より多くなっています。

学習において、「将来の夢や目標を持っていますか」という設問に対して肯定的な回答をしている生徒も多いことから、自分の将来の夢や目標の実現に向けて多くの生徒が意欲的に学習に取り組んでおり、家庭学習の時間・読書の時間が増えています。

授業において、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組み、考えを発表する機会では、工夫して発表する」ことに課題が見られました。「主体的・対話的」な活動を取り入れた授業や、既習事項を活用して課題を解決する授業を進め、課題解決力の育成・根拠に基づいて自分の考えを伝える力の育成に努めたいと考えています。

本校の課題としてテレビ・ゲームなどに費やす時間もたいへん長い実態があります。最近の社会的課題となっているネット、SNSの使い方や時間などにつきましても学校でも、継続的に指導を進めていきます。ご家庭でも、ルールづくりやルールの再確認の指導をよろしくお願いいたします。